

会 議 記 録				
会議の名称	広報広聴会議			会議場所 全員協議会室
				担当職員 数井
日 時	令和7年1月30日（木曜日）			開 議 午後 1時00分
				閉 議 午後 2時11分
出席委員	◎大塚 ○三上（広報部会長） ○松山（広聴部会長） 竹内 法貴 片山 梅本 林 山木			
執行機関 出席者				
事務局 出席者	数井次長、福沢主査、田中主事			
傍 聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員名（ ）

会 議 の 概 要

13:00～

○開 議

【事務局から本日の日程説明】

1 各部会の振り返り・申し送り事項について

（１）広報部会から報告

【三上副委員長（広報部会長）、竹内委員、法貴委員、梅本委員から別紙資料により報告】

13:15

（２）広聴部会から報告

【松山副委員長（広聴部会長）、山木委員、片山委員、林委員から別紙資料により報告】

13:28

2 広報広聴会議の申し送り事項について

<大塚委員長>

ただ今両部会からの報告を聞き、自由討議で申し送る事項について意見をいただきたい。

<松山副委員長（広聴部会長）>

これまで広報部会と広聴部会が別れて会議し、そのあとに広報広聴会議を開議していたが、密に進めていく必要があることから、先に広報広聴会議をしてからそれぞれの部会を開くことを考えてみてほしいかもしれない。

<三上副委員長（広報部会長）>

わがまちトークや議場見学会は大変よかったと思っている。これからマイナーチェンジをしていくにあたり、ワールドカフェ方式や服装のことも考えていかなければならない。進め方として、ファシリテーターに徹することができたかという点があり、盛り上げなくてはいけないという思いから議員が発言をし過ぎてしまうことも

あった。発言しやすい雰囲気をつくること、司会ではなくうまく場を回す技量が必要になってくると思う。

<大塚委員長>

はたちの会実行委員会のときに、ファシリテーターをしたが、どう進めていいか分からなくなった。より経験が必要と思う。

<松山副委員長（広聴部会長）>

参加団体の思いを主軸に、話合いをうまく回して意見を導いていく形がよい。

<三上副委員長（広報部会長）>

意思と自主性を尊重することを基本としつつ、トークがしやすいテーマの検討も必要と思う。

<竹内委員>

議場見学会やそれぞれのわがまちトーク終了時に、反省の会議をしているので、その資料も併せて申し送ることも必要と思っている。

<大塚委員長>

広報広聴の取組は同じであり、市民の声を議会活動に反映していくため、自分たちの取組を自信をもって進めていくように引き継いでいきたい。

<三上副委員長（広報部会長）>

議場見学会については、小学生だけでいいのかどうか、高校生や大人にも広げていってはどうか課題としたい。

14：11

3 そ の 他

次回開催日 令和7年3月議会 議案送付日の予定

散会～14：11